

社会福祉法人 新潟みずほ福祉会
令和元年度第1回理事会
資料集1

平成30年事業報告書
自：平成 30年4月 1日
至：平成 31年3月31日

事業報告 目次

本部	4
新潟みずほ園	9
みのり園	12
第2みずほ園	15
工房はたや	18
わあ〜らく	19
榎の木	20
西川まちなかサロン	21
みっと	22

平成30年度事業報告書

(自)平成30年4月1日

(至)平成31年3月31日

1 法人の概要

主たる事務所の所在地 新潟市西区小見郷屋107番地2(新潟みずほ圏内)	電話番号 025(262)0155	代表者氏名 和田晋弥
法人許可年月日 昭和50年8月29日	法人許可番号 厚生省社第800号	設立登記年月日 昭和50年9月30日

2 法人の行う事業

※職員数は平成31年3月1日現在

事業名	拠点名	実施サービス名	代表役職・名	職員数
社会福祉事業	本部		本部長 川村雅代	職員10名
	障害者支援施設 新潟みずほ園	施設入所支援50名 生活介護59名 短期入所・日中一時支援3名	施設長 渡辺幸治	職員44名 嘱託医1名
	障害者支援施設 みのり園	施設入所支援50名 生活介護59名 短期入所・日中一時支援4名	施設長 多賀邦夫	職員46名 嘱託医1名
	障害者支援施設 第2みずほ園	施設入所支援50名 生活介護56名、 短期入所・日中一時支援3名	施設長 海老郁夫	職員41名 嘱託医1名
	工房はたや	就労支援事業B型24名 生活訓練6名 日中一時支援2名	所長 渡辺晴美	職員8名
	障がい者(児)生活支援センター わあ〜らく	指定特定計画相談支援 指定障がい児相談支援 新潟市委託相談支援	所長 本井ひろみ	職員7名
	樞の木	もみじ4名 あじさい5名 CHみずき野老番館7名 CHみずき野老番館5名 さくら老番館6名 さくら式番館6名	管理者 多賀邦夫	職員27名
	西川まちなかさろん	地域活動支援センターⅢ型	所長 田中敦子	職員3名
	みつと	居宅介護、同行援護、 新潟市移動支援	管理者 海老郁夫	職員3名

3 評議員・役員等の状況

役職名	氏名	現就任年月日	備考
評議員	村山六郎	平成29年4月1日	
評議員	真島福一	平成29年4月1日	
評議員	大嶋喜芳	平成29年4月1日	
評議員	小林建	平成29年4月1日	
評議員	矢部三次	平成29年4月1日	
評議員	吉田育子	平成29年4月1日	
評議員	佐藤久友己	平成29年4月1日	
理事	和田晋弥	平成29年6月28日	理事長
理事	塚田正幸	平成29年6月28日	
理事	野澤慎吾	平成29年6月28日	
理事	川村雅代	平成29年6月28日	常務理事
理事	渡辺幸治	平成29年6月28日	
理事	多賀邦夫	平成29年6月28日	
監事	小柴昭彦	平成29年6月28日	
監事	鈴木昭	平成29年6月28日	

4 事業概要

当法人は、障害者支援施設「新潟みずほ園」、「みのり園」、「第2みずほ園」、就労継続支援・自立訓練「工房はたや」、共同生活援助「樞の木」、相談支援「わぁ〜らく」、地域活動支援センター「西川まちなかさろん」、居宅介護・移動支援「みっと」、在宅障がい児者の短期入所及び日中一時支援を運営し、障がい者福祉の増進に寄与してきた。

平成30年度年度における主な業務の実施状況は、次のとおりである。

第1 新潟みずほ福祉会

- 1 理事会を5回（内1回は決議の省略）、評議員会を4回（内3回は決議の省略）開催した。（資料参照）
- 2 利用者の健康管理のため、嘱託医等による健診を実施した。
- 3 職員の健康診断を健康医学予防協会により実施した。（直接支援職員は年2回）
- 4 日本歯科大学新潟病院の協力を得て、新潟みずほ園、みのり園及び第2みずほ園の利用者の歯科検診と診療を実施した。
- 5 本部機能強化を目的に、全事業所事務員本部集結した。
- 6 新潟市より平成30年度社会福祉施設等施設整備補助金23,700,000円の補助を受け、新潟市西区藤野木51番地に、当法人7棟目となるグループホーム「さくら参番館」を創設した。平成31年4月1日より事業開始。（定員6名）。
- 7 働き方改革に対応する目的で、平成30年10月から玉木社会保険労務士と契約を締結し、就業規則の見直しを行った。
- 8 地域における公益的取組
 - ・新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会
 - ・にいがたセーフティーネット事業
- 9 社会貢献活動
 - ・講師派遣（行政、社会福祉協議会、地域小学校、各種福祉機関研修）
 - ・課外授業受入（地域保育園、小学校、中学校）
 - ・行政、地域福祉団体等の委員就任
 - ・施設開放、地域行事協賛等
- 10 利用者家族等から寄付金を受けた
- 11 本年度の苦情申し立ては0件

5 理事会・評議員会開催状況

(1) 理 事 会

日時及び場所	審 議 事 項
平成30年6月1日 10:00～11:30 第2みずほ園	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成29年度事業報告及び決算認定 2 平成30年度事業 3 平成30年度第1次補正予算 4 評議員会の招集
平成30年8月7日 10:00～10:45 第2みずほ園	<ol style="list-style-type: none"> 1 総合支援センターの創設と土地購入 2 定款の一部改定（臨時評議員会の招集：決議の省略） 3 育児・介護休業に関する規程の全部改定 4 経理規程の一部改定 5 平成30年度第2次補正予算
平成30年12月18日 10:00～11:30 第2みずほ園	<ol style="list-style-type: none"> 1 総合支援センター創設入札案件 2 役員選任（評議員会の招集：決議の省略） 3 経理規程一部改定 4 社会保険労務士顧問契約 5 平成30年度第3次補正予算
平成31年1月17日 （決議の省略：決議があったとみなされた日）	<ol style="list-style-type: none"> 1 総合支援センター設計・施工入札案件
平成31年3月18日 10:00～11:30 第2みずほ園	<ol style="list-style-type: none"> 1 定款の一部改定（臨時評議員会の招集：決議の省略） 2 運営規定の一部改定 3 就業規則の全部改定 4 給与規程の一部改定 5 平成30年度第4次収支補正予算 6 平成31年度事業計画・収支予算 7 常務理事の選定 8 施設長等の任用

(2) 評 議 員 会

日時及び場所	審 議 事 項
平成 30 年 6 月 19 日 15:00 ~15:45 新潟グランドホテル	1 平成 29 年度事業報告及び決算認定 2 コンサルタントの短期調査結果報告
平成 30 年 8 月 27 日 (決議の省略:決議があ ったとみなされた日)	1 定款の一部改定 (総合支援センター創設の土地購入)
平成 31 年 1 月 11 日 (決議の省略:決議があ ったとみなされた日)	1 役員選任
平成 31 年 4 月 2 日 (決議の省略:決議があ ったとみなされた日)	1 定款の一部改定 (さくら参番館新築)

【新潟みずほ園】

- 1 障害者支援施設として、適正な事業運営に努めた。
障害支援区分：区分6～43名・区分5～7名 区分4～1 平均区分：5.8
利用率：施設入所支援99.6％・生活介護96.0％・短期入所81.1％
- 2 利用者の動向
退所5名（死亡2名、医療3名）、入所4名
利用者の年齢は平均61歳6ヶ月（男性63歳3ヶ月、女性59歳9ヶ月）
最年少39歳、最年長89歳で、65歳以上の方は16名となっている。
- 3 平成30年度の取り組み
 - (1) 利用者一人ひとりのニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
 - (2) インシデント・アクシデント報告を基にした、リスクマネジメント（安全対策）と各種マニュアルの周知、徹底、見直しに努めた。
 - (3) 定期健診等を実施し、病気の早期発見・早期治療、健康管理に努めた。
 - (4) 栄養ケア計画に基づき食の安全、嗜好、季節感に配慮し食生活の充実を努めた。
 - (5) 潤いのある生活構築のため、余暇支援、各種行事を適宜実施した。
 - (6) 作業療法士を中心に、利用者の機能維持訓練及び余暇の充実に努めた。
 - (7) 避難訓練等を実施し、防災・安全対策に努めた。
 - (8) 利用者の権利擁護の観点から、身体拘束軽減、行動制限廃止に努めた。
 - (9) 在宅障がい者福祉の増進に努めた。
- 4 利用者の住環境等整備として次の事業を行った。

(1) 地域交流ホーム外壁改修工事	10,584,000円
(2) 居室エアコン10台入替工事	996,600円（リース）
(3) 食器洗浄機入替工事	1,004,616円（リース）
(4) 管理棟テレビ共同受信設備	756,000円
(5) 樹木（樺）伐採工事	378,000円
- 5 地域の社会資源として次のことを行った。
 - (1) 短期入所・日中一時支援等受け入れ状況
 - ① 短期入所 延べ 888名
 - ② 日中一時支援 延べ 1名
 - (2) 災害等特例入所者 延べ 365名
 - (3) 実習生受け入れ状況 9名、延べ 106日
 - (4) ボランティア受け入れ状況 延べ 146名
 - (5) 地域行事への参加、地域学校との交流
 - (6) 職員を講師として派遣した
- 6 職員の資質向上を図るため、施設内研修、施設外各種研修・会議への参加を推進し、専門知識、技能の習得に努めた。

事業概要

1 主要行事等の実施状況

実施日	行事名	場 所	参加者	人数
平成 30. 7. 11	県身協オセロ交流会 (下越地区)	ふれ愛プラザ	利用者、職員	9名
8. 29	夕 涼 み 会	園 内 園 前 庭	利用者、職員、 実習生	78
9. 30	みずほ福祉会まつり	三 施 設	利用者、職員、家族 地域住民、ボランティア	540
10. 2	県身協スポーツ交流会 (下越地区)	ふれ愛プラザ	利用者、職員	5
10. 8	親子三代ふれあい会	中野小屋中学校 体 育 館	利用者、職員	5
12. 19	忘 年 会	園 内	利用者、職員	73
平成 31. 1. 16	新 年 会	園 内	利用者、職員	71

※国民の年中行事にちなんだ食事を提供した

2 検診等の実施状況

実施日	検診内容	場 所	対象者	人数	検診機関
平成 30. 5 月 ～7 月	胸部 X 線間接撮影	信楽園あかつ か診療所	利 用 者	51 名	信楽園あかつか診 療所他
5. 30	職員定期健康診断	第 2 みずほ園 健康医学予防協会	職 員	42	健康医学予防協会
8. 29	歯 科 検 診	園 内	利 用 者	40	日本歯科大学新潟 歯学部歯科医師
9. 5	生活習慣病予防検診	園 内	利 用 者	48	嘱託医
5. 16 10. 10	内 科 検 診	園 内	利 用 者	49 51	嘱託医
11. 14	インフルエンザ 予 防 接 種	園 内	利 用 者 職 員	51 43	嘱託医
12. 5	職員定期健康診断	第 2 みずほ園	直接処遇 職 員	28	健康医学予防協会

3 防災訓練等の実施状況

(1) 避難訓練

実施日時	訓練種別	所要時間	参加者及び人数	避難場所
平成 30. 5. 27 10:10～	地域消防団合同 避難訓練	12分 55秒	利用者・職員 39名	第一避難場所
9. 5 14:30～	水害避難訓練	8分 15秒	利用者・職員 32	地域交流 ホーム1階
11. 21 10:30～	三園合同訓練 消防署立会	8分 30秒	利用者・職員 47	各居住棟 廊下奥
平成 31. 2. 20 14:15～	地震想定訓練	13分 30秒	利用者・職員 50	ふれあい ルーム

(2) 緊急連絡網による通報訓練（火災メールシステム）

実施日時	所要時間	備考
平成 30. 6. 14 15:00～	17時間以内の返信者 39名	事前連絡なし
12. 11 15:00～	17時間以内の返信者 38名	事前連絡なし
平成 31. 1. 25 15:30～	17時間以内の返信者 44名	事前連絡なし

(3) その他

実施日時	訓練種別	参加者及び人数	備考
平成 30. 4. 18 14:00～	防災研修	職員 11名	
7. 24 10:30～	消火器訓練	職員 4名	
8. 15 14:00～	放水訓練	職員 5名	
8. 15 15:00～	防災研修	職員 2名	
10. 11 9:40～	防災研修	職員 1名	

【みのり園】

- 1 障害者支援施設として、適正な事業運営に努めた。
障害支援区分：区分6～37名、区分5～9名、区分4～4名 平均区分：5.7
利用率：施設入所支援94.2%・生活介護96.6%・短期入所106%
- 2 利用者の動向
退所：4名 入所：1名
利用者の年齢は平均52歳11ヶ月（男性51歳8ヶ月、女性54歳3ヶ月）、最年少は23歳、最年長は79歳で、65歳以上の方は13名となっている。
- 3 平成30年度の取り組み
 - (1) 利用者一人ひとりのニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
 - (2) インシデント・アクシデント報告を基にしたリスクマネジメント（安全対策）と各種マニュアルの周知、徹底、見直しに努めた。
 - (3) 定期健診等を実施し、病気の早期発見・早期治療、健康管理に努めた。
 - (4) 「福祉サービス第三者評価」を受審した。
 - (5) 栄養ケア計画に基づき食の安全、嗜好、季節感に配慮し食生活の充実にも努めた。
 - (6) 施設生活に潤いと変化を与えるため、各種の行事を実施した。
 - (7) 利用者の日中活動として、歩行、廃油石鹸、アルミ缶つぶし、サシェ（匂い袋）加工、農園芸、創作活動（表現）を実施した。
 - (8) 作業療法士を中心に、利用者の機能維持訓練及び余暇の充実に努めた。
 - (9) 避難訓練等を実施し、防災・安全対策に努めた。
 - (10) 利用者の権利擁護の視点から、身体拘束の軽減、行動制限廃止に努めた。
 - (11) 在宅障がい者福祉の増進に努めた。
- 4 利用者の住環境等整備として次の事業を行った。

(1) 中間浴槽設置・改修工事	8,636,544円（リース）
(2) 低床ベッド導入	3,175,200円（リース）
(3) 居室エアコン18台入替え工事	2,214,180円（リース）
(4) 温室ハウス撤去工事	452,520円
(5) 厨房調理台入替	301,320円
(6) プレハブ解体工事	273,082円
(7) なごみ棟トイレ建具改修工事	194,400円
(8) 厨房ロボクープ修理	132,940円
- 5 地域の社会資源として次のことを行った。
 - (1) 短期入所・日中一時支援の受け入れ状況
 - ① 短期入所 延べ1,549名
 - ② 日中一時支援 延べ280名
 - (2) 実習生の受け入れ状況 13名 延べ146日
 - (3) ボランティアの受け入れ状況 延べ230名
 - (4) 地域行事への参加、地域保育園、学校との交流居室
 - (5) 職員を講師として派遣した
- 6 職員の資質向上を図るため、施設内研修、施設外各種研修・会議への参加を推進し、専門知識、技能の習得に努めた。

事業概要

1 主要行事等の実施状況

実施日	行事名	場 所	参加者	人数
平成 30. 4. 19	観 桜 会 ・ 昼 食 会 ド ラ イ ブ	園 内 市 内	利用者、職員	73名
			利用者、職員	41
6. 17	レクリエーション 交 流 会	園 内	利用者、職員、家族 新潟大学学生、実習生	212
7. 7	七 夕	園 内	利用者、職員 ボランティア	51
9. 30	みずほ福祉会まつり	三 園	利用者、職員、家族 地域住民、ボランティア	540
10. 8	親子三代ふれあい会	中野小屋中学校 体 育 館	利用者、職員	6
12. 21	クリスマス忘年会	園 内	利用者、職員	78
平成 31. 1. 9	新 年 会	園 内	利用者、職員、家族	77
2. 4	節 分	園 内	利用者、職員	71
3. 1	ひ な ま つ り	園 内	利用者、職員、ボランティア	50

※国民の年中行事にちなんだ食事を提供した

2 検診等の実施状況

実施日	検診内	場 所	対象者	人数	検診機関
平成 30. 5. 18	利用者健康診断 胸部X線間接撮影	園 内	利用者	48	健康医学子防協会
5. 30	職員定期健康診断	第2みずほ園 健康医学子防協会	職 員	47	健康医学子防協会
6. 7	内 科 検 診	園 内	利用者	48	囀託医
6. 21	耳 鼻 科 検 診	園 内	利用者	48	しおかぜ医院
7. 25	大 腸 が ん 検 診	園 内	利用者	40	囀託医
10. 10	歯 科 検 診	園 内	利用者	43	日本歯科大学新潟 歯学部歯科医師
11. 15	インフルエンザ 予 防 接 種	園 内	利用者	46	囀託医
			職員	47	
12. 5	職員定期健康診断	第2みずほ園	直接処遇 職 員	32	健康医学子防協会
12. 25	内 科 検 診	園 内	利用者	49	囀託医

3 防災訓練等の実施状況

(1) 避難訓練

実施日時	訓練種別	所要時間	参加者及び人数	避難場所
平成 30. 5. 27 10:00～	地域消防団合同 (夜間火災想定)	13 分 13 秒	利用者・職員 52 名	体育館
9. 20 10:30～	地震避難訓練	14 分 10 秒	利用者・職員 67 名	体育館
11. 21 10:30～	三園合同訓練 (日中火災想定)	12 分 27 秒	利用者・職員 55 名	体育館
平成 31. 2. 13 11:00～	地震避難訓練	8 分 30 秒	利用者・職員 60 名	体育館

(2) 緊急連絡網による通報訓練 (火災メールシステム)

実施日時	所要時間	備考
平成 30. 6. 14 18:40～	30 分 57 秒	事前連絡なし
12. 12 19:00～	28 分 5 秒	事前連絡なし

(3) その他

実施日時	訓練種別	参加者及び人数	備考
平成 30. 4. 25 9:45～	防災研修	職員 10 名	防災機器取扱説明
7. 24 10:30～	消化器訓練	職員 15 名	
8. 26 14:00～	放水訓練	職員 4 名	
10. 25 14:30～	防災研修	職員 2 名	防災基本事項説明
平成 31. 1. 28 15:00～	非常食体験	全員参加	
3. 13 10:30～	防災研修	利用者・職員多数参加	防災関連 DVD 上映

【第2みずほ園】

- 1 障害者支援施設として、適正な事業運営に努めた。
障害支援区分：区分6～37名・区分5～7名・区分4～7名 平均区分：5.6
利用率：施設入所支援95%・生活介護93%・短期入所98%
- 2 利用者の動向
退所名(医療機関 6名)、入所7名
利用者の年齢は平均58歳0ヶ月(男性58歳2ヶ月、女性57歳10ヶ月)
最年少20歳2ヶ月、最年長は86歳0ヶ月、65歳以上は18名となっている。
- 3 平成30年度の取り組み
 - (1) 利用者一人ひとりのニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
 - (2) インシデント・アクシデント報告を基にしたリスクマネジメント(安全対策)と各種マニュアルの周知、徹底、見直しに努めた。
 - (3) 定期健診等を実施し、病気の早期発見・早期治療、健康管理に努めた。
 - (4) 栄養ケア計画に基づき、食の安全、嗜好、季節感に配慮し、食生活の充実に努めた。
 - (5) 行事、サークル活動を実施し、生活の潤いに努めた。
 - (6) 作業療法士を中心に、利用者の機能維持訓練及び余暇の充実に努めた。
 - (7) 避難訓練等を実施し、防災・安全対策に努めた。
 - (8) 利用者の権利擁護の観点から、身体拘束軽減、行動制限廃止に努めた。
 - (9) 在宅障がい者福祉の増進に努めた。
- 4 利用者の住環境等整備として次の事業を行った。

(1) 正面玄関自動ドア改修工事	駆動装置交換	682,560円
(2) ミスト浴槽設置		3,456,000円(リース)
(3) 居室エアコン10台入替え工事		1,937,520円(リース)
(4) 加圧給水ポンプ更新工事		486,000円
(5) トイレ棟外部建具一部改修工事		1,274,400円
(6) トイレ棟外壁改修工事		1,209,600円
(7) 居室スチールドア入替え工事		2,700,000円
(8) 中間浴槽入替え工事		3,797,280円(リース)
- 5 地域の社会資源として次のことを行った。
 - (1) 短期入所・日中一時支援受け入れ状況
 - ① 短期入所 延べ 1,079名
 - ② 日中一時支援 延べ 8名
 - (2) 実習生受け入れ状況 11名 延べ 107日
 - (3) ボランティア受け入れ状況 延べ 300名
 - (4) 地域行事への参加、地域保育園・学校との交流
 - (5) 職員を講師として派遣した
- 6 職員の資質向上を図るため、施設内研修、施設外研修・会議への参加を推進し、専門知識、技能の習得に努めた。

事業概要

1 主要行事等の実施状況

実施日	行事名	場 所	参加者	人数
平成 30. 7. 11	県身協オセロ交流会 (下越地区)	ふれ愛プラザ	利用者、職員	10
7. 21	納 涼 会	園 内・園前庭	利用者、職員、家族	96
9. 30	みずほ福祉会まつり	三 園	利用者、職員、家族 地域住民、ボランティア	540
10. 2	県身協スポーツ交流会 (下越地区)	ふれ愛プラザ	利用者、職員	9
10. 8	親子三代ふれあい会	中野小屋中学校 体 育 館	利用者、職員、地域住民	5
12. 26	忘 年 会	園 内	利用者、職員	71
平成 31. 1. 16	新 年 会	園 内	利用者、職員	72

※国民の年中行事にちなんだ食事を提供した

2 検診等の実施状況

実施日	検診内容	場 所	対象者	人数	検診機関
平成 30. 6. 5	生活習慣病予防検診	園 内	利用者	38	嘱託医、アルプ
5. 8 ～5. 28	胸部 X線間接撮影	園 外	利用者	39	あかつか診療所他
5. 30	職員定期健康診断	第2みずほ園 健康医学子防協会	職 員	39	健康医学子防協会
6. 27	内 科 検 診	園 内	利用者	49	嘱託医
10. 26	肺炎球菌予防接種	園 内	利用者 65歳以上	5	嘱託医
9. 19	歯 科 検 診	園 内	利用者	43	日本歯科大新潟歯 学部歯科医師
11. 28	インフルエンザ 予 防 接 種	園 内	利用者 職 員	39	嘱託医
12. 5	内 科 検 診	園 内	利用者	46	嘱託医
12. 5	職員内科検診	園 内	直接処遇 職 員	28	健康医学子防協会

3 防災訓練等の実施状況

(1) 避難訓練

実施日時	訓練種別	所要時間	参加者及び人数	避難場所
平成 30. 5. 27 10:00～	地域消防団合同 火災訓練(夜間 想定)	17分58秒	利用者・職員 56名	第一避難場所
11. 21 10:30～	三園合同訓練 消防署立会い	9分10秒	利用者・職員 55名	第一避難場所

(2) 緊急連絡網による通報訓練(火災メールシステム)

実施日時	所要時間	備考
平成 30. 6. 14 19:00～	10分25秒～23分33秒	ホットライン 事前連絡あり
12. 12 16:00～	7分50秒～18分27秒	ホットライン 事前連絡あり

(3) その他

実施日時	訓練種別	参加者及び人数	備考
平成 30. 4 月	防災研修	新任職員	防災設備、避難経路説明
7. 24 10:30～	消火器訓練	職員 2名	
平成 31. 3. 23 14:00～	消火器訓練 (水消火器)	職員 10名	

【 工房はたや 】

- 1 多機能型事業所〔就労継続支援B型、自立訓練（生活訓練）事業〕として、適正な事業運営に努めた。
- 2 利用者の動向
男性1名、女性1名退所、男性1名が利用を開始。
通所利用登録者38名（男性19名、女性19名）※新潟市34名 燕市4名
登録利用者の平均年齢は37.9歳、最年少18歳 最年長70歳となっている。
- 3 平成30年度の取り組み
 - (1) 利用者一人ひとりのニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
 - (2) インシデント・アクシデント報告を基にした、リスクマネジメント（安全対策）と各種マニュアルの周知、徹底、見直しに努めた。
 - (3) 自主製品として、大豆まるごと豆腐『豆天使』製造・資源回収等を実施した。
 - (4) 授産作業として、箱折り・裁断・包装・委託作業（新潟県・新潟市）及び自主製品・仕入商品の販売などを実施した。
 - (5) 法人入所施設にて委託作業（除草、清掃などの環境整備）を実施した。
 - (6) 園芸作業の施設外就労を実施した。
- 4 作業環境整備として次の事業を行った。
 - (1) ブロック塀を撤去しフェンスを設置した。 400,000円
- 5 地域の社会資源として次のことを行った。
 - (1) 地元西川地域の一員として、西川桜まつりや西川まつり、時代激まつり、百緑市、地元保育園・小学校文化祭等に積極的に参加した。
また、地域への美化活動として、ごみ拾い、除草を行いました。
 - (2) 出張販売・イベント参加
共生フォーラム in 西蒲、わらアート祭、蒲原まつり、潟東カモンかもねぎ祭り、特別支援学校文化祭、畑やかとうふあーむ感謝祭 病院祭、他多数
 - (3) 日中一時支援受け入れ状況 3名 延べ57日
 - (4) 実習の受け入れ状況
 - ① 障がい当事者 6名 延べ42日
 - ② 短大生実習等 8名 延べ60日
 - (5) ボランティア受け入れ状況 延べ13名
- 6 職員の資質向上を図るため、施設内研修、施設外研修・会議への参加を推進し、専門知識、技能の習得に努めた。

【 障がい者(児)生活支援センターわぁ〜らく 】

1 指定特定相談支援事業、指定障がい児相談支援事業

(1) サービス等利用計画およびモニタリング作成実績 (単位/件)

		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計	計
者	計画		18	22	33	22	16	19	18	22	12	14	18	19	233	566
	モニタリング		16	19	28	31	30	26	34	22	30	34	26	37	333	
児	計画		8	0	4	2	1	2	2	2	1	5	4	10	41	82
	モニタリング		0	4	5	3	4	5	6	4	1	2	4	3	41	

※特定事業所加算対象

計画相談契約者数：383名(内、児童45名) ※平成30年3月末日現在
内、新規契約者：10名(内、児童3名)

(2) 基本相談含む相談および支援等実績(延件数)：年間2,811件(内、児童450件)

2 指定一般相談支援事業

実績：地域移行 0件(退院)、地域定着 1件

3 市町村事業受託

(1) 新潟市障がい者基幹相談支援センター(平成30年度より、代表法人として受託)
新潟市障がい者基幹相談支援センター西運営コンソーシアムの構成法人として
協定を結び、相談員1名、障がい児支援コーディネーター1名、事務員兼相談補助1名出向。

※新潟市障がい者基幹相談支援センター西運営コンソーシアム構成法人
社会福祉法人 自立生活福祉会、社会福祉法人 新潟しなの福祉会
社会福祉法人 新潟みずほ福祉会

(2) 障害支援区分認定調査

新潟市(平成30年4月1日～平成31年3月31日、実績なし)
他 村上市(実績1件)

4 地域での啓発活動

(1) 主催企画：地域の茶の間 さろん「わぁ〜らく」

毎月1回、第3土曜日を目途に定例開催(偶数月ミュージックセラピー、奇数月ポッチャもしくはカーリンコン)。平成30年度は12回開催で、延べ93名参加。

(2) 共催企画：西蒲区共生フォーラム(平成16年度から15年連続開催)

『共生フォーラム in 西蒲ファイナル』の開催に事務局として貢献。

※参加者 約200名。

(3) 地域生活支援ネットワーク形成

新潟市地域自立支援協議会、新潟市西蒲区地域自立支援協議会、西蒲区地域福祉計画・西蒲区地域福祉活動計画推進委員会、県立巻総合高等学校学校評議員、新潟市南部地区ソーシャルワーカー連絡会等に参加し、ネットワーク形成に尽力した。

【 櫻の木 】

- 1 共同生活援助事業として、適正な事業運営に努めた。
障害支援区分：区分6～2名、区分5～4名、区分4～7名、区分3～13名
区分2～3名、区分1以下～4名 平均区分：3.3
利 用 率 ：93.9%
- 2 利用者の動向
退所 1名 入所 2名
利用者の年齢は平均51歳（男性45歳、女性57歳4ヶ月）
最年少は19歳、最年長は69歳で、65歳以上の方は4名となっている。
- 3 平成30年度の取り組み
 - (1) 「もみじ」（定員4名）、「あじさい」（定員5名）、「ケアホームみずき野老番館」（定員7名）、「ケアホームみずき野式番館」（定員5名）、「さくら老番館」（定員6名）「さくら式番館」（定員6名）のニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
 - (2) 支援にあたっては、家庭的な雰囲気を大切にし、入居者の誕生日や季節の行事などを実施した。また、生活全般においては可能な限りご自分でできるように助言、支援に努めた。
 - (3) 利用者の、毎日の健康チェック、定期通院や緊急時の通院、治療等、バックアップ施設や日中活動先の事業所と連携し健康管理に努めた。
夏季期間（7月～9月）は衛生面・水分摂取を考慮し、全ホームへ麦茶ペットボトルを定期購入し配分した。
 - (4) 平成30年度社会福祉施設等施設整備費補助金（23,700,000円）の交付を受け平成31年4月1日開設のさくら参番館6名定員を建設した。
 - (5) 地域の中のグループホームとして、地域行事の催し物に参加した。
 - (6) 防災対策として、各ホームごとに避難訓練を実施し、地域の防災訓練にも参加した。
 - (7) 職員の資質向上のため他事業所のグループホーム施設見学を実施した。
- 4 利用者の住環境整備のため以下の事業を実施した。

(1) みずき野老・式番館 敷地内アスファルト工事	2,435,400円
(2) さくら参番館初度備品等	1,069,200円
(3) みずき野式番館 敷地内にベンチ設置	286,200円
(4) もみじ食堂エアコン入れ替え	143,208円

【 地域活動支援センター「西川まちなかさろん」 】

1 地域活動支援センター事業

(1) 平成23年6月1日から新潟市の補助金を受け、西蒲区曾根223番地に地域活動支援センター「西川まちなかさろん」を開所、事業継続。

(2) 利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用延べ 人員	164	177	184	179	166	163	186	188	171	158	159	180	2,075

(動向) 4月登録者21名 途中利用中止3名 新規利用登録者0名

2 平成30年度活動内容

- (1) 地域の茶の間として活用した。
- (2) 社会体験活動や季節行事を行い、自立支援・活動の充実を図った。

3 地域への貢献活動

- (1) 曾根小学校花壇整備協力、美化活動等の活動を行った。
- (2) 曾根小学校の校外学習に協力した。
- (3) 地域の一員として、西川桜まつり、百緑市、西川まつり傘ぼこ人形作りおよびまつり行列(子ども傘ぼこの持ち手、山車引き)、越後にしかわ時代激まつりに参加した。
- (4) 講師を招いての創作ワークショップ『ほこほこ*あへと』を開催した(2回)。

4 ギャラリー、店舗の利用状況

- (1) 手芸作品展(1回)、絵画・貼り絵展(3回)、他事業所の作品展(3回)、写真展(2回)、当所利用者作品展で使用した。
- (2) サロンコンサート、ヨガ教室、さろんマジック、編み物教室、地域の茶の間『さろんわあ〜らく』、町部サロン、ワークショップで使用した。

[みつと]

1 活動内容

- (1) 利用者(児)が居宅において自立した日常生活を営むことができるように支援した。
- (2) 地域や家庭との結びつきを重視し、関係市町村、他の障害福祉サービス事業者、社会地域の保健・医療・福祉サービスとの連携に努めた。
- (3) 利用者の人権を尊重し、利用者の立場に立った適切な支援を提供した。

2 活動報告

(1) 居宅介護事業

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用延べ人数	11人	15	15	9	14	13	12	13	12	12	12	15	153

(2) 同行援護事業

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用延べ人数	17人	14	14	14	8	15	17	11	11	9	8	16	154

(3) 行動援護事業

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用延べ人数	3人	7	11	7	11	9	9	8	11	9	12	11	108

(4) 移動支援事業

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用延べ人数	114人	92	142	125	132	121	135	136	134	119	128	162	1540

(5) 福祉有償運送事業

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用延べ人数	147人	117	172	147	145	158	166	166	144	166	153	194	1875
車両運行時間	51時間 05分	48時間 50分	56時間 35分	44時間 35分	58時間 35分	60時間 15分	62時間 35分	58時間 40分	58時間 20分	58時間 50分	51時間 45分	72時間 15分	682時間 20分
運行距離	1299 km	1964	2261	2091	2246	2171	2369	2244	2088	2286	1988	2762	26392